



# みなみの風6月号

【発行日】  
令和6年6月28日  
【発行者】 学校長

《学校教育目標》 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成  
重点目標 「生き生きわくわく」～言葉を大切に、豊かな関わり・確かなつながりをとおして～

暑雨の日が多くなり、気候的に若干過ごしにくい日々が続いています。そのような中ですが、子どもたちは比較的元気に過ごしており、うれしい限りです。引き続き体調管理へのご支援をお願いいたします。

朝のあいさつ時に、少し余裕があるときは、プラスワンの一言を伝えることもあるのですが、子どもたちがニコニコした表情をしながら返答をしてくれる時、「今日も一日がんばれる！」と思う今日この頃です。

## 次なる注目する教育活動は「清掃」

写真は、ある日の5年生の児童が清掃している様子です。多目的室を担当しているこの子どもたちは、年度当初からよく清掃をしており、感心していました。ある時、私は埃がたまりそうなところを雑巾で拭こうとすると、「校長先生、そこはふだんからきれいにしているから大丈夫です。」とある子が伝えてくれました。見える所だけではなく、隅々まできれいにしようとするその心がすてきさんだと思いました。しかしながら、このような取組をする子どもたちは少数であったのです…。



本校は、長昼休み設定日を除き、毎日15分間の清掃活動を位置付けています。5月に入り、校内で子どもたちの清掃活動への取組に課題があるということになり、現在、改めて清掃への価値付けを行っているところです。そもそも、学校で使用する清掃用具は家庭にはないものも多く、これまでその使い方も徹底することが難しかったようです。また、しゃべりながらという場面が数多くみられ、一生懸命その場所をきれいにするという意識が少し弱かったことが考えられました。

担当の先生が、より充実した清掃活動の時間となるようアイデアを出し、徐々によりよい時間になってきています。まだまだ道半ばですが、全校の取組がさらにすばらしいと感じられたときに、この通信をとおしてまた続報をお伝えします。

### 本校の広報紙が最優秀賞に選ばれました

神奈川県 PTA 協議会が主催している、令和5年度発行分の「PTA 広報紙コンクール」が開催され、本校の広報紙が WEB 版の最優秀賞(県 PTA 会長賞)に選出されました。おめでとうございます。広報紙の作成は容易ではないのですが、様々な工夫が取り入れられ、メッセージ性があるものが評価されたのだと思います。



## 「子育てアラカルト② ～子どもへの要求～」

24年前に享年65歳で他界した母は、とても穏やかで優しい人でした。私が小学生のとき、帰宅時の「ただいま」の声のトーンで、学校での過ごし方が楽しかったのか否かが分かったと後々言っていました。亡くなった今でも、私は母のことを尊敬しています。

以前、神奈川新聞が「しつけ」について取りあげていました。厚生労働省の調査によると、18歳以下の子どもがいる親ら養育者のうち、しつけ名目で半年以内に体罰を与えた人が3割超いるとのことでした。加えて、子どもは叩かれたり怒鳴られたりすると、一時的には言うことを聞いても「自分も周りの人に暴力的な言動を取ってもよい」と考えるようになる可能性があることと示されていました。いわゆる「暴力の連鎖」というものになります。

自分自身を振り返ると、子どもが小さかった頃(3歳ぐらいまで)は、寝返りやつかまり立ち、ちょっとした言葉を発しただけで、「これはすごい」と拍手をしたものです。そのうち、子どもの言動にいらいらしたり、子育てというものについて何がよいのかが分からず自信がなかったりと、不安なことが多々あった気がします。加えて、徐々に子どもへの要求が高くなってきて、できないことがやけに気になってしまうときもありました。いろいろと悩みやいらいらが積み積みしてきたような時、私自身は子どもが小さかった時の写真やビデオを見て、心を落ち着かせていました。

## 本物を知る ～富士山静岡交響楽団 来校～

文化庁の「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」の一環として、標記楽団による本公演を11月に予定しているところですが、そのセットのプログラムとして、今回は5・6年生を対象とした「鑑賞・体験をより効果的なものとするためのワークショップ」が実施されました。当日は、5名の演奏者が来校され、素敵な音色を披露してくださいました。本物に触れた子どもたちは、まさに「聞き入る」といった表情を見せ、とてもよい時間となりました。

本公演は、「芸術鑑賞会」として2学期11月に実施します。15年目を迎えた本校に在籍している児童に対するプレゼントとして、着々と準備を進めていきたいと思います。



## 「学び方」を学ぶ ～フレキシブルな学びの場の設定～

写真は、3年生の授業の様子です。廊下を歩いていたときに、学びの様子を思わず写真に収めました。保護者の方々にとって、学校教育における授業のイメージはご自身の原体験が基礎になっていると思います。それは、机の配置は様々かもしれませんが、基本は「学級全体で行う一斉授業」が主だったのではないのでしょうか。

現在、「学びの主体は子どもたちにある」ことが叫ばれており、それに伴い、学びのスタイルも変革する必要があります。各学級で、様々な試行がされておりますので、本通信をとおして積極的に情報発信していきたいと思います。



## 「校長先生！歯が…」 ～1年生の教室にて～

子どもたちは、学校生活において様々な時間を楽しみにしています。その一つが給食の時間です。

過日、給食でシナモントーストの提供がありました。私は、「シナモンは、苦手なのでは…」と思いながら検食(学校長が味や調理状況を確認するために事前に食す業務)していました。給食時に各教室を回ったところ、多くの子どもたちがシナモントーストが好きだったことがわかり、自分の価値観を反省したところです(自分が小学生だったころにはシナモンに関わる食は身のまわりにあまり存在していなかったような気がします)。

ただし、こんがりとしていたトーストに、1年生が苦戦していました。なぜかという、前歯が入れ替わる時期であり、「校長先生、前歯がないので食べにくいです！」との一言。なるほどね、と思いました。

毎日、多くの方々関わって用意される給食ですが、本校の子どもたちは食事のマナーもさることながら、非常によく食べます。日頃からの、ご家庭のご指導の賜物ですね。ありがとうございます。



## 学び続ける教職員 ～アップデートを心がけ～

多くの教職員が勤務する本校ですが、それぞれの職に応じて、児童の下校後に研修等を行い、児童の安全はもとより、指導力向上をねらい、研鑽をしています。学校通信の紙面を借りて、一部を紹介させていただきます。

Aの写真は、県体育指導センターの職員を招いて、体力テストの実施方法講習会の様子です。本県の児童の体力テストの数値は芳しくなく、全県をあげて改善に向けて取り組んでいます。日頃の体力づくりのこつも教わりました。Bの写真は、メダカの観察の様子です。5年の理科で扱う題材ですが、全職員で観察する視点を学びました。Cの写真は、救命救急法です。子どもたちの安全が最優先される学校では、最新の救急法を毎年確認しています。心肺蘇生とAEDの使用方法を学んでいます。

今後、夏季休業中においても様々な研修の場が準備されており、より充実した教育のため、教職員も努めていることにご理解いただければ幸いです。

